

(別紙1プログラム)

平成29年度
水産工学関係研究開発推進会議
漁業生産技術部会・水産業システム研究部会
意見交換会
～水産業におけるIoT、ICTの利活用の促進に向けて～

日時 平成29年10月31日(火) 13:30-17:00

会場 エッサム神田ホール1号館301号

〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-2-2

TEL:03-3254-8787

開催趣旨

国立研究開発法人水産研究・教育機構の中長期計画において、「次世代水産業のための基盤研究」は重点研究課題に位置づけられ、ICT技術等を利用した次世代水産業のための研究開発もその要素の1つとなっている。ICTおよびIoTの発達は著しく、例えば経済産業省は我が国の目指すべき産業の在り方として、モノに加え、人、技術、組織等が様々につながるにより新たな価値創出を図る“Connected Industries”の概念を提唱し、陸上産業においてはその取り組みが加速されている。水産業においても技術や装置のデジタル化が進展し、その活用研究も始まったところである。他分野で利活用されているノウハウが援用可能な状況となっており、衛星船舶通信の高速化・低コスト化も進みつつあることも相まって、ICT、IoT活用の環境は整いつつある。

意見交換会では、基調講演として、水産業のためのICタグや超音波タグなどの開発や活用に先駆的に携わってこられた東京海洋大学の宮本教授からこれまでの経緯や現状と将来についてご講演戴く。続いて、漁船漁業分野での先駆的事例として、北海道総合研究機構稚内水産試験場の佐野主査から、漁業者に活用されるマナマコ資源管理支援システムをご紹介戴く。また、水産庁から新しい水産基本計画とその目標達成のために期待されるICT、IoT技術についてご講演戴く。最後に、水産研究・教育機構開発調査センターの大島グループリーダーから、漁船漁業者のニーズ調査結果や関連した研究開発などを紹介する。総合討論においては、漁船漁業や養殖業に係る電子データの共有化を基盤にして、そのデジタルデータの利活用技術の発展の可能性や、水産業全体の活性化に向けたICT、IoT利活用の全体構想など、技術面に限らず幅広い意見交換を行いたいと考えている。

13:30-13:40	開会挨拶、趣旨説明
13:40-14:25	基調講演 「水産業におけるICTのこれまでとこれから」 宮本佳則(東京海洋大学)
14:25-15:00	話題提供 「漁業者に活用されているマナマコ資源管理支援システム」 佐野 稔(北海道総合研究機構稚内水産試験場)
15:00-15:10	(休憩)
15:10-15:35	話題提供 「水産基本計画とその計画実現のために期待されるICT技術」 三野雅弘(水産庁海洋技術室)
15:35-16:00	話題提供 「漁船漁業におけるIoTとビッグデータについて」 大島達樹(水産研究・教育機構開発調査センター)
16:00-16:10	(休憩)
16:10-16:50	総合討論(論点整理、他)
16:50-17:00	閉会挨拶